

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立紫波東小学校【指定校】

【取組内容】子供を主語にした学びを実現するための「学びの視点5（ファイブ）」①

児童生徒と視点を共有

小1・2年

学びの視点5

みつけよう！

1. 「もっと知りたい」「なぜだろう」
2. がくしゅうのほうほうや すずめかた
3. 「いいな」「まねしたい」

できるようになるう！

4. しらべる・かんがえる・つたえる
5. ふりかえり・つきへの みとおし

小3・4年

学びの視点5

1. 友達や先生との話して「もっと知りたい」、「なぜだろう」を見つけよう。
2. 自分で学習の方法や進め方を考えて学習しよう。
3. 友達の考えのいいなと思う所や、まねしたいと思う所を見つけよう。
4. 本やタブレットで知りたいことを調べたり、自分の考えを伝えたりできるようになろう。
5. 学んだことを振り返り、次の学習の見直しをもとう。



小5・6年，中1年

学びの視点5

1. 友達や先生との対話や今まで学んだことを基に自ら課題を見つけよう。
2. 自ら学習の方法や進め方を考えて学習しよう。
3. 友達との学びから、自分の考えを広げ、深めよう。
4. 情報活用能力を発揮し、教科の学びを深めよう。
5. 学んだことを振り返り、次の学習の見直しをもとう。

中2・3年

学びの視点5

1. 友達や先生との対話、学習経験を基に、自ら課題を見つけよう。
2. 自ら学習の方法や進め方を考えて学習しよう。
3. 友達との学びから、自分の考えを広げ、深めよう。
4. 情報活用能力を発揮し、教科の学びを深めよう。
5. 課題解決の過程や学習の成果を振り返り、次の学習の見直しをもとう。

授業づくりの視点は、児童生徒の発達段階に応じた言葉に置き換え「**学びの視点5**」として各教室に掲示。教師にとっては「授業づくりの視点」、児童生徒のにとっては「**学びの視点**」とし、子供と教師で目指す姿を共有しながら学習を進めている。

児童の学びへ向かう意識も変化



学習を振り返り、自分が分からなかったことやもう一度復習したいと思ったことを家庭学習などにつなげています。友達との交流で考えが深まる時、新しい学びがあるときに学習の楽しさを感じます。



自分一人でもより深く理解したり、他の人の意見についても考えてみたりする時にタブレット端末を活用しています。友達と協力して課題を解決し、その後の勉強に生かすことができたときに喜びを感じます。

【取組内容】子供を主語にした学びを実現するための「学びの視点5（ファイブ）」②

教師が目指す授業づくりの視点

- ①子供は友達や先生との対話，学習経験を基に，主体的に学習課題を見出すことができる
- ②子供は自己調整をしながら，主体的に課題解決に取り組むことができる
- ③子供は友達との学びから，自分の考えを広めたり，深めたりすることができる
- ④子供は情報活用能力を発揮し，教科の学びを深めることができる
- ⑤子供は課題解決の過程や学習の成果を自覚することができる



ICT機器の効果的活用

- ・一斉学習
- ・個別学習
- ・協働学習



授業観の転換と授業の改善

- ・課題解決型授業(PBL)の視点
- ・「複線型授業」の視点
- ・諸調査結果の分析
- ・学びの視点5

情報活用能力の育成

- ・情報活用能力体系表の活用
- ・合同研究会を通じた実践共有
- ・情報活用能力チェック表による成果と課題の共有

本校では、「子供たちは学びをどのように捉えているのか」を大切にした授業への転換を図るため，上記のような5つの授業づくりの視点を設定し，日々の授業改善に取り組んできた。「ICT機器の効果的活用」「情報活用能力の育成」「授業観の転換と授業の改善」を手立てとし，一人一台端末の環境を生かしながら，子供が主語となる授業づくりを目指している。